



一般財団法人 西日本産業衛生会 2022年度 職員健康レポート

1.法人の健康支援の取組状況に関する指標

①定期健康診断の徹底および精密検査の受診勧奨	2022年度	前年度	同業種平均値
定期健康診断受診率(*)	100% →	100%	-
精密検査対象者受診勧奨率	100% →	100%	-

*定期健康診断の実施を徹底します。目標値:定期健康診断受診率100%

②特定保健指導	2022年度	前年度	同業種平均値
特定保健指導利用率(*) ¹⁾	66.7% ↓	90.7%	16.0%

*2021年度より特定保健指導について財団全体の問題として捉え推進を行った。2022年度は途中経過であり前年度を下回っているが最終的に90%近くになる予想。目標値:特定保健指導利用率100%

③健康イベント(身体面)※女性の健康課題への対策を含む	2022年度	前年度	同業種平均値
フィジカルヘルスセミナー参加者数	10名	(中止)	-
→フィジカルヘルスセミナー受講者満足度(*)	100%	-	-

*職員の健康意識の向上を図るセミナーを企画していきます。目標値:フィジカルヘルスセミナー受講者満足度100%

④福利厚生	2022年度	前年度	同業種平均値
福利厚生(フィットネス利用割引等)利用者数(※北九州病院グループ全体の利用者総数、※※職員の二親等以内の家族まで利用可のため、人数に含まれる。)	1396名 ↓	1723名	-

*利用者数の増加に向け、カウンセリング制度の再周知や各種研修会での広報を行います。

⑤ストレスチェック	2022年度	前年度	同業種平均値
ストレスチェック受検率	96% ↓	97%	-
ストレスチェックの職場別分析結果を受けて 職場環境改善に取り組んだ職場*の割合 *総合リスク値120以上の職場が対象	100% →	100%	-

*総合健康リスク値が120を上回る職場では、必ず職場環境改善活動を実施します。目標値:職場環境改善取組率100%

⑥健康イベント(メンタル面)	2022年度	前年度	同業種平均値
メンタルヘルス関連セミナー参加者数	53名 ↑	41名	-
→メンタルヘルスケアセミナー受講者満足度(*)	(測定無)	(測定無)	-
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種 (ラインケアコース)団体受験合格者数(累積)	74名 ↑	71名	-
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種 (セルフケアコース)団体受験合格者数(累積)	66名 ↑	60名	-

*職員の健康意識の向上を図るセミナーを企画していきます。目標値:メンタルヘルスケアセミナー受講者満足度100%/2023年度より測定。

⑦健康イベント(コミュニケーション面)	2022年度	前年度	同業種平均値
コミュニケーションイベント(研修・交流会)参加者数	89名 ↓	96名	-
→取組評価率(*) (「法人はハラスメント等のない働きやすい職場づくりに努めている」と評価する者の割合)	66% ↓	68%	-

*メンタルヘルス不調の要因となる「ハラスメント」を未然に防止するために、心理的安全性や、快適なコミュニケーション、適切な指導の在り方などの研修を繰り返し実施していきます。目標値:取組評価率80%以上

2.職員の意識・行動変容に関する指標

⑧精密検査の受診	2021年度	前年度	同業種平均値
精密検査受診率(*)	52% ↑	51%	-

*コロナ禍の影響で受診控えが続くなど当法人の健康課題となっているため、受診勧奨の徹底を図ります。目標値:精密検査受診率80%以上

⑨健康的な生活習慣の実施	2022年度	前年度	同業種平均値
運動習慣率 ※40歳以上を対象に集計 (1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合) 1)	17% ↑	15%	18%
身体活動率 ※40歳以上を対象に集計 (日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合) 1)	35% ↑	34%	43%
間食率 ※40歳以上を対象に集計 (朝食の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している者の割合) 1)	25% ↓	28%	27%
朝食欠食率 ※40歳以上を対象に集計 (朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合) 1)	26% ↑	25%	21%
飲酒率 ※40歳以上を対象に集計(お酒を毎日飲む者の割合) 1)	17% ↓	18%	18%
喫煙率(*) ※40歳以上を対象に集計 1)	9% ↓	11%	15%
良眠率 ※40歳以上を対象に集計 (睡眠で休養が十分取れている者の割合) 1)	63% ↓	65%	62%

3.健康関連の最終的な目標に関する指標

⑩長期 [※] 病欠・休業率等	2022年度	前年度	同業種平均値
メンタル不調による長期病欠・休業率(連続1か月以上)	1.4% ↑	0.5%	
メンタル不調以外による長期病欠・休業率(連続1か月以上)	2.6% ↑	1.6%	
4日以上 の休業を伴う労働災害の発生件数	0件 →	0件	

⑪体調不良を抱えながら働く職員の割合	2022年度	前年度	同業種平均値
健康診断有所見率	75% ↓	78%	
メタボ該当率	6% ↓	7%	
高ストレス率 ²⁾	15% ↑	13%	13%

⑫活力・熱意などを抱いて働く職員の割合 [※]	2022年度	前年度	同業種平均値
※ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度超短縮版3項目を使用し把握			
活力度(仕事をしていると活力がみなぎると感じる者の割合)	60% ↓	66%	-
熱心度(仕事に熱心であると感じる者の割合)	88% ↑	86%	-
没頭度(仕事をしていると時間が経つのが早いと感じる者の割合)	90% ↓	91%	-

⑬職場の快適度やワークライフバランス	2022年度	前年度	同業種平均値
就労継続意欲(現在の職場でできるだけ長く勤めたいと感じる者の割合)	73% ↓	74%	-
パワーハラスメント経験率(現在の職場で過去3年間のパワーハラスメントを受けたと感じる者の割合) 3)	12% ↑	6%	36%
高ストレス職場への該当率(総合リスク値120以上の職場の割合)	16% ↓	23%	-
平均月間残業時間(所定外労働時間)	10時間	10時間	-
平均年次有給休暇取得率(*) 4)	85% ↓	86%	60%

*引き続き有給休暇取得促進を図ります。目標値:同業種平均値以上の継続

4.健康支援で解決したい経営課題

⑭職員のパフォーマンス発揮 [※]	2022年度	前年度	同業種平均値
※SPQ(Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版)を使用し把握			
パフォーマンス発揮率(心身の不調による損失が無い場合のパフォーマンスを100%とした場合の、過去4週間の業務パフォーマンスの発揮率)	78% ↓	80%	-

⑮人材確保・定着	2022年度	前年度	同業種平均値
平均勤続年数(*) ⁵⁾	9.8年 ↓	11.0年	-
離職率	7.0% ↑	6.6%	15.3%

*働き続けたいと思える職場を目指し、様々な健康支援・離職対策を講じます。目標値:平均勤続年数10年以上【健康経営全体の具体的な数値目標】

各目標値の計画期間

2021年4月1日~2025年3月31日(4年間)

(4年ごとに見直しを行います)

同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元

- 1) 全国健康保険協会福岡支部(事業所カルテ2022年度版)
- 2) 全国労働衛生団体連合会・メンタルヘルス専門委員会(令和3年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書)
- 3) 厚生労働省(令和2年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書)
- 4) 厚生労働省(令和4年就業条件総合調査)
- 5) 厚生労働省(令和4年年度雇用動向調査)